

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 清流長良川あゆパーク管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2913)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,536 千円 (前年度予算額： 16,536 千円)
(債務負担行為 既設 R1-R4：66,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	16,536	0	0	1,164	0	0	0	0	15,372
要求額	16,536	0	0	670	363	0	0	0	15,503
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

清流長良川あゆパーク指定管理料

(2) 事業内容

ア 指定管理者指定期間

平成30年6月2日～令和5年3月31日

イ 指定管理業務の内容

(ア) 施設管理業務

施設・設備の保守点検及び修繕、緑地帯管理及び清掃等

(イ) 漁業体験業務

漁業に関する体験学習事業の企画及び実施

(ウ) 資料展示業務

漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料の展示

(エ) 利用者サービス業務

イベント等案内、見学及び視察等の対応及び機械警備業務等

(オ) 利用促進業務

ホームページの作成・運用並びに施設案内パンフレットの作成及び配布

(カ) その他

利用者への遵守事項徹底、利用者等の意見把握及び利用状況等の集計等

(3) 県負担・補助率の考え方

施設の維持管理費及び運営費、企画事業費その他の管理業務関連支出の見込額合計から、事業収入その他の管理業務関連収入の見込額合計を差し引いて算出した額の2分の1の範囲内

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
業務委託料	16,536	指定管理料
合計	16,536	

※債務負担行為 R1-R4 66,000千円 (R1: 16,386、R2~4: 16,536×3年)

歳入

事業内容	金額	事業内容の詳細
行政財産目的外使用料収入	670	レストラン施設の使用料
財産運用収入	363	自動販売機設置の使用料
合計	1,033	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）

第5章 1 (3) ⑥ 鮎を守り育てる体制の構築

(2) 国・他県の状況

類似施設（神戸市立水産体験学習館）では、指定管理者制度による施設の管理運営が行われている。

(3) 後年度の財政負担

指定管理料が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設の管理運営に係るものであり、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいか

漁業に関する体験学習事業を、指定管理者の指定期間（平成30～令和4年度）中の各年度（平成30年度を含む。）につき35回以上かつ延べ1,800人以上を対象に実施できるよう、県としての取組を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
		(H30)	(R1)			
漁業体験学習事業実施回数及び参加者数	(H)	(H30) 66回 1,402人	(R1) 93回 2,306人	(R1) 93回 2,306人	各年度 35回 1,800人 (H30～ R4)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

指定管理業務

（期間）令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）

※令和4年度までの期間で基本協定締結

（内容）パークの管理に関すること

漁業に関する体験学習事業を企画し、実施すること

漁業及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」に関する資料展示

など

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

来場者数 219,774人（令和元年度）

体験利用者数 27,393人（令和元年度）※自主事業（一般来場者）含む

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<p>○</p> <p>アユ漁獲量並びに遊漁者数及び河川漁業協同組合員数の河川漁業に関する指標が悪化している中、多くの小中高生に川や魚に触れ合う機会や釣り教室等の場を提供し、遊漁者数及び漁協組合員数の増加を図ることが緊急の課題である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	<p>○</p> <p>あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたいくなった・・・94%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 継続的な来場者及び体験利用者数の確保及び満足度の向上

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 来場者や体験活動利用者に対しアンケートを実施することで、パーク利用者ニーズを把握し、実施内容や規模等について見直しを行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】